

令和 6 年度 事業報告

当支部の令和 6 年度事業については、令和 6 年 5 月 30 日に開催した令和 6 年度参与会において承認された事業計画に基づき、東北経済産業局・各県自治体・各種関係団体・事業者等との連携のもと、省エネルギーの普及・推進を中心としながら、カーボンニュートラルに向けた各種取組みを積極的に展開してまいりました。

つきましては、当支部の令和 6 年度事業の実施状況等を以下のとおり報告します。

1. 「徹底した省エネ」に向けた中小企業等への支援

(1) 工場・ビルの省エネ診断

省エネ診断等事業として、「省エネ最適化診断」と「有料診断」の 2 事業について次の件数を実施した。

省エネ最適化診断	90 件実施
有料・省エネ診断	省エネ診断：20 件実施

a. 省エネ最適化診断（国からの受託事業）

「省エネ最適化診断」は、経済産業省資源エネルギー庁の令和 6 年度「中小企業等に対するエネルギー利用最適化推進事業費補助金」（エネルギー利用最適化診断等事業。以下「エネルギー最適化補助金」）の交付を受けて実施しており、省エネ最適化診断の申込を受けた工場・ビル等に省エネ専門家を派遣し、燃料や熱、電力も含めた総合的な省エネ診断に加え、太陽光発電等の再エネ提案を組み合わせた複合的診断サービスとして、エネルギー利用の最適化を提案している。

この診断は、中小企業およびエネルギー使用量が原則として原油換算 100kL 以上 1,500kL 未満の工場・ビル等（中小企業以外の事業者の場合）を対象としている。

東北各県自治体や関係諸団体との連携を図り、診断先紹介につながった結果、令和 6 年度は「90 件」の省エネ最適化診断を実施した。この件数は本部+8 支部の中で 4 番目の件数となっている。

省エネ最適化診断		工 場	ビ ル	合 計
診断件数 ()はシェア率	当支部	52件 (15%)	38件 (16%)	90件 (15%)
	全 国	344 件	238 件	582 件
省エネ削減量 (提案ベース)	当支部	1,506kL／29kL	746kL／20kL	2,253kL／25kL
	全 国	10,392 kL／30kL	3,638 kL／15kL	14,030 kL／24kL
省エネ削減率 (提案ベース)	当支部	4.1%	14.7%	5.4%
	全 国	4.5%	12.5%	5.4%

(注 1) 省エネ削減量における各欄の左数値は全体の削減量、右数値は 1 件当たりの削減量

(注 2) 診断件数の県別内訳、削減効果の詳細は【別表 1】(p9)、【別表 2】(p10) 参照

《 参考 》主な省エネ提案項目は次のとおり。

ボイラ燃焼空気比の調整、コンプレッサー吐出圧力の低減、空気配管の漏れ防止、デマント監視装置の導入・有効活用、各種照明器具(蛍光灯、水銀灯等)の高効率(LED)への更新、冷凍機等のインバータ化、バルブ類の保温、変圧器の統合・トップラナー更新、太陽光発電導入 等

b. 有料診断（民間等からの受託事業）

「有料診断」は、省エネ最適化診断（資源エネルギー庁からの受託事業）とは別に、民間企業等からの受注を受け、「省エネ診断 20 件」を実施した。

有 料 診 断	工 場	ビ ル	合 計
診 断 件 数	12件	8 件	20件
省エネ削減量(提案ベース)	236kL／20kL	496kL／62kL	732kL／37kL
省エネ削減率(提案ベース)	3.0%	17.2%	6.8%

（２）省エネ説明会（無料講師派遣）

「省エネ説明会」事業は、エネルギー最適化補助金の交付を受けて行っており、民間団体・自治体・公的機関等が主催する省エネルギーや経営改善をテーマとした「省エネ説明会」（講演会・セミナー等）に対して無料でエネルギー専門家講師を派遣している。今年度は、「事業者」向け説明会として、1 会場(21 名)の実施にとどまった。

a. 「事業者」向け説明会

主 催 者	講座名・セミナー名	会 場	参加人数
自治体	エコスタッフ 養成セミナー	岩手県奥州市	2 1 名

b. 「一般」向け説明会・・・今年度はなし

（３）省エネ診断・技術事例発表会

本業務は、中小事業者等の省エネルギー対策の促進を広く図るため、エネルギー最適化補助金の交付を受け、平成 26 年度より開催しており、経営者およびエネルギー管理担当者等を対象として、省エネ診断をきっかけとして省エネ効果をあげた事例等について紹介し、省エネ推進の着眼点や具体的な取組方法について情報提供を行った。

令和 6 年度は下記のとおり、東京会場と大阪会場で開催および動画公開し、東北地区からは、「株式会社盛岡地域交流センター」様の省エネ診断事例について東京会場で事例発表を実施した。

a. 東京会場

- ・開 催 日：令和 6 年 11 月 1 日（金）
- ・開 催 場 所：鉄鋼ビルディング
- ・参 加 者 数：2 0 7 名
- ・動画公開期間：令和 6 年 12 月 3 日（火）～ 令和 7 年 2 月 14 日（金）

発 表 者	(株)盛岡地域交流センター（東北地区代表）	東京会場全発表
WEB 視聴数	1 6 7 名	2, 4 3 9 名

b. 大阪会場

- ・開 催 日 : 令和 6 年 11 月 13 日 (水)
- ・開 催 場 所 : 大阪 Y M C A 国際交流センター
- ・参 加 者 数 : 1 6 6 名
- ・動画公開期間 : 令和 6 年 12 月 10 日 (火) ~ 令和 7 年 2 月 14 日 (金)

発 表 者	大阪会場全発表
WEB 視聴数	1, 2 7 0 名

(4) 特定事業者等の現地調査 (工場等現地調査)

本業務は、「令和 6 年度エネルギー需給構造高度化対策調査等事業」(工場等におけるエネルギーの使用状況及び管理実態に関する調査事業)を経済産業省より受託を受け実施した。

本調査は、平成 13 年度から、第一種エネルギー管理指定工場等を対象にして「工場等判断基準」の遵守状況等の調査を重点とした取組状況の総点検として開始されたもので、平成 18 年度からは、資源エネルギー庁からの受託事業として、それまでの東北経済産業局に代わって当センターが実施している。工場等現地調査の実施件数は次のとおり。

【令和 6 年度 現地調査件数】

種 別	東北支部	全 国
第一種エネルギー管理指定工場等	1 1	1 1 8
第二種エネルギー管理指定工場等	1	5 6
そ の 他 特 定 事 業 者	5	5 6
合 計	1 7	2 3 0

2. 「エネルギー管理士」資格取得試験・研修の実施

(1) エネルギー管理士試験

「エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律」(「省エネ法」)により、第一種エネルギー管理指定工場等(ただし、第一種指定事業者は除く)は「エネルギー管理士」資格を有するエネルギー管理者を選任する必要がある。

この「エネルギー管理士」資格を取得するには次の 2 方法があり、当センターは、昭和 59 年 4 月 18 日に通商産業大臣から省エネ法に基づく指定を受け、エネルギー管理士試験の指定試験機関として実施事務を行っている。

① 「エネルギー管理士試験」を受験・合格する方法 (後記参照)

※ エネルギー管理士の免状交付申請時には 1 年以上の実務経験を必要とする。

② 「エネルギー管理研修」を受講・修了する方法 (後記 p5 参照)

※ 受講資格は 3 年以上の実務経験を有すること。

a. 「第 46 回・エネルギー管理士試験」実施概要

- ・試験日時：令和 6 年 8 月 4 日（日）
- ・実施場所：東北福祉大学仙台駅東口キャンパス（仙台市）
- ・合格発表：令和 6 年 9 月 17 日（火）

※ 合格した課目は、その年を含めて 3 年間試験を免除する「合格課目試験免除制度」を採用しているため、3 年間で 4 課目合格すれば管理士試験合格。

b. 令和 6 年度受験者 / 合格者数

	東北(a)			全国(b)			東北シェア(a/b)%		
	熱	電気	合計	熱	電気	合計	熱	電気	合計
受験者	249	179	428	5,311	3,275	8,586	4.6%	5.4%	4.9%
内旧資格者	0	2	2	14	14	28	—	—	—
合格者	98	51	149	2,131	1,044	3,175	4.5%	4.8%	4.6%
内旧資格者	0	2	2	13	12	25	—	—	—
合格率	39.3%	28.4%	34.8%	40.1%	31.8%	36.9%			
内旧資格者	—	100%	100%	92.8%	85.7%	89.2%			

《参考》過去 6 か年合格率推移

		東北 (%)			全国 (%)		
		熱	電気	合計	熱	電気	合計
年度別合格率	R01	36.8	20.7	30.2	40.6	19.8	32.8
	R02	36.5	34.1	35.5	37.8	35.4	36.9
	R03	24.1	30.2	26.5	31.7	32.9	32.1
	R04	30.0	31.7	30.6	37.4	28.4	33.3
	R05	31.7	25.3	29.0	42.0	30.6	37.8
	R06	39.3	28.4	34.8	40.1	31.8	36.9

《参考》「熱分野」試験時間・試験課目

試験時間	1 時限目(80 分) 9:00～10:20	2 時限目(110 分) 10:50～12:40	3 時限目(110 分) 14:00～15:50	4 時限目(80 分) 16:20～17:40
試験課目	I エネルギー総合管理及び法規	II 熱と流体の流れの基礎	IV 熱利用設備及びその管理	III 燃料と燃焼

《参考》「電気分野」試験時間・試験課目

試験時間	1 時限目(80 分) 9:00～10:20	2 時限目(110 分) 10:50～12:40	3 時限目(110 分) 14:00～15:50	4 時限目(80 分) 16:20～17:40
試験課目	I エネルギー総合管理及び法規	III 電気設備及び機器	IV 電力応用	II 電気の基礎

(2) エネルギー管理研修

3年以上のエネルギー管理の実務経験を備えた者で、このエネルギー管理研修を修了することにより、エネルギー管理士の免状を取得することができる。

令和6年度から講義はすべてオンラインによる動画視聴となり、修了試験のみ集合形式で行うこととなったため、当支部は修了試験のみを担当・実施している。

a. 「第47回・エネルギー管理研修」実施概要

- ・申込受付期間：令和6年 7月12日（金）～10月11日（金）
- ・オンライン視聴期間：令和6年 9月20日（金）～12月10日（火）
- ・修了試験日：令和6年 12月15日（日）
- ・修了試験会場：仙台卸商センター卸町会館（仙台市）
- ・合格発表：令和7年 2月21日（金）

※ 前年度の一部課目合格者は今年度に残りの課目を合格すれば修了となる。

b. 令和6年度受験者／修了者数

	東北(a)			全国(b)			東北シェア(a/b)		
	熱	電気	合計	熱	電気	合計	熱	電気	合計
受験者 A	57	44	101	671	378	1,049	8.4%	11.6%	9.6%
内課目合格者	6	3	9	94	36	130	6.3%	8.3%	6.9%
修了者 B	26	17	43	337	205	542	7.7%	8.2%	7.9%
内課目合格者	3	2	5	54	19	73	5.5%	10.5%	6.8%
合格率(B/A)	45.6%	38.6%	42.5%	50.2%	54.2%	51.6%			
課目合格者合格率	50.0%	66.6%	55.5%	57.4%	52.7%	56.1%			

《参考》「熱分野」修了試験時間・試験課目

試験時間	1 時限 9:30～10:50 (80 分)	2 時限 11:20～12:50 (90 分)	3 時限 13:50～15:40 (110 分)	4 時限 16:10～17:30 (80 分)
試験課目	I エネルギー総合 管理及び法規	IV 熱利用設備及び その管理	II 熱と流体の流れ の基礎	III 燃料と燃焼

《参考》「電気分野」修了試験時間・試験課目

試験時間	1 時限 9:30～10:50 (80 分)	2 時限 11:20～12:50 (90 分)	3 時限 13:50～15:40 (110 分)	4 時限 16:10～17:30 (80 分)
試験課目	I エネルギー総合 管理及び法規	II 電気の基礎	IV 電力応用	III 電気設備 及び機器

《参考》「オンライン講習」の実施

① エネルギー管理講習「新規講習」

「新規講習」は、令和6年度からその講義方法について、本部主導で「オンラインによる講義講習・効果測定」を行うこととなり、以下の日程で実施された。

なお、受講者は所定3課目を講習期間において各科目任意日程での受講が可能で、全ての課目を受講すれば効果測定を受けることができる。

[上期講習]

- ・申込受付期間：令和6年4月5日（金）～7月12日（金）
- ・受講期間：令和6年6月5日（水）～8月31日（土）
- ・受講者：申込者数 4,261名 / 修了者数 4,167名

[下期講習]

- ・申込受付期間：令和6年8月15日（木）～11月13日（水）
- ・受講期間：令和6年10月1日（火）～12月31日（火）
- ・受講者：申込者数 2,306名 / 修了者数 2,252名

② エネルギー管理講習「資質向上講習」

「資質向上講習」は、令和6年度からその講義方法について、本部主導で「オンラインによる講義講習・効果測定」を行うこととし、以下の日程で実施された。

なお、受講者は「工場」「事業場」いずれかを選択し、所定3課目を講習期間において各科目任意日程での受講が可能で、全ての課目を受講すれば効果測定を受けることができる。

- ・申込受付期間：令和6年12月2日（月）～令和7年2月25日（火）
- ・受講期間：令和7年1月10日（金）～令和7年3月31日（月）
- ・受講者：申込者数 3,617名 / 修了者数 3,575名

3. 省エネ推進の中核的人材の育成

○「東北支部企画講座」の実施

東北支部自主企画講座については、事務局側業務の関係で開催することはできなかったが、自治体や業界団体等への広報活動の強化により、自治体主催の省エネセミナーや事業所主催の省エネに関する社員研修への講師派遣の依頼を受け、エネルギー使用合理化専門員を派遣し、省エネ技術の普及、省エネ法の理解とその措置の促進、カーボンニュートラルへの取組み支援につながる情報等を発信することに努めた。

（１）出前講座 【３件】

各県自治体、企業および団体等からの依頼を受けて、「省エネやカーボンニュートラル」をテーマとするセミナーや研修に講師派遣（有料）を実施した。

開催日	講座名	主催者	開催地等
令和6年11月11日（月） ～令和6年12月8日（日）	事業者応援！ あきた省エネセミナー	業界団体	WEB 配信
令和7年1月23日（木）	カーボンニュートラルの取組 みの必要（事業所社員研修）	民間企業	山形市
令和7年3月24日（月） ～令和7年5月30日（金）	省エネ・脱炭素セミナー	自治体	WEB 配信

4. 省エネ推進事業者等の表彰

○「エネルギー管理優良事業者等およびエネルギー管理功績者表彰」事業

省エネルギーの意義を理解し、永年にわたりエネルギー管理の推進に尽力しその功績が顕著であると認められる個人や、エネルギー使用の合理化に資するため、エネルギー管理の推進等に不断の努力を重ね、その成果が大であり、他の模範となる事業者等を表彰しており、今年度は、次の受賞者が表彰となった。

- ①「東北経済産業局長」表彰（エネルギー管理優良事業者、同優良工場等、同功績者）
エネルギー管理に優良な実績を上げた事業者、工場・事業場、個人を対象に、東北経済産業局の要請に応じて候補を推薦した結果、「1 個人」が受賞した。
- ②「一般財団法人省エネルギーセンター東北支部長」表彰（省エネ推進功労者）
賛助会員企業などから本件表彰候補者を募集し、省エネ技術の向上をはじめ、省エネ推進に功績があったと認められた個人を対象として選考し、「6 個人」を表彰した。

（１）「表彰」概要

- ・表 彰 日 程：令和 7 年 12 月 27 日（木）
- ・表 彰 会 場：日立システムズホール仙台（宮城県仙台市）
- ・受 賞 者 等：下表 a、b、c に記載

a. エネルギー管理優良事業者（0 事業者 ※省エネルギーセンター推薦分）

表彰の種類	受 賞 事 業 所
東北経済産業局長賞	対象事業者なし

b. エネルギー管理功績者（1 名 ※省エネルギーセンター推薦分）

表彰の種類	受賞者氏名	受賞者所属
東北経済産業局長賞	飯塚 和幸	東北電力(株)能代火力発電所

c. 省エネ推進功労者（6 名）

表彰の種類	受賞者氏名	受賞者所属
一般財団法人 省エネルギーセンター 東北支部長賞	阿部 晃久	東北電力(株)東新潟火力発電所
	高階 敦志	東北自然エネルギー(株) (出向元:東北電力(株)発電カンパニー火力部)
	加藤 政敏	酒田共同火力発電(株)
	永山 久志	常磐共同火力(株) 勿来発電所
	幾野 光雄	日本海エル・エヌ・ジー(株)
	関 孝史	(一財)省エネルギーセンター エネルギー使用合理化専門員

【受賞者記念撮影】



(2) 選考経過

5月31日	省エネルギーセンターから表彰について賛助会員等に告知
6月10日	東北経済産業局から推薦依頼
10月2日	東北経済産業局長表彰選考員会開催（支部事務室）
10月4日	東北経済産業局へ局長表彰候補者推薦調書提出
10月4日	東北経済産業局：優良事業者・工場等・功績者 応募締切
10月31日	省エネルギーセンター東北支部：省エネ推進功労者 応募締切
12月25日	東北経済産業局長優良事業者・工場等・功績者表彰者決定
12月27日	省エネルギーセンター支部長表彰選考員会開催（支部事務室） 省エネルギーセンター東北支部長表彰者決定

5. 賛助会員の拡大（会員状況）

令和6年度末賛助会員数：158事業所／166口（前年比－7事業所／－7口）

※ 主な業種：電気業、化学工業、輸送用機械器具製造業、電気機械器具製造業、窯業・土石製品製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業 等

6. その他

- (1) 東北地域省エネルギー推進連携会議委員
- (2) みやぎゼロカーボンチャレンジ2050 県民会議委員
- (3) ふくしまカーボンニュートラル実現会議委員
- (4) 東北七県電力活用推進委員会委員
- (5) 東北七県電力活用推進委員会エネルギー管理優良工場審査委員会委員